

URLの構造を改善しよう

わかりやすいURLはコンテンツの情報を伝えやすい

コンテンツのカテゴリや、ファイル名に説明的な名前を利用することは、**検索エンジンがそれらのドキュメントをクロールしやすくなることにもつながります**。また、あなたのコンテンツにリンクを張りたいと思っている人にとっても簡単で、わかりやすいURLを作ることもなります。意味のわかる単語がほとんど含まれない、極端に長く暗号めいたURLはユーザーにとって不親切なものと言えるでしょう。

①のようなURLはわかりにくく、不親切です。ユーザーがURLを思い出して、リンクを張るのに苦労するかもしれません。また、URLに不可解な**パラメータ**がたくさん含まれていると、ユーザーはURLの一部が不要だと誤解してしまうかもしれません。その結果、URLの一部が削られ、リンクが適切に張られなくなる恐れがあります。

ユーザーの中にはURLの文字列をそのままリンクの**アンカーテキスト**として利用する人もいます。URLがページの内容と関連する単語を含んでいれば、**ID**や不可解なパラメータで構成されたURLに比べて、**ユーザーと検索エンジンの両方にページについての情報をより多く伝えられます** (②)。

URLは検索結果に表示される

ページのURLはGoogleの検索結果にも表示されることを覚えておきましょう。URLはページのスニペットの下に表示されます。ページタイトルやスニペットと同様、ユーザーの検索キーワードがURLに含まれていた場合、その部分が太字で表示されます (③)。

Googleは非常に複雑な構造のURLもクロールすることができます。しかし、サイトのURLをできる限りシンプルにすることで、ユーザーにも検索エンジンにも親切なものになります。そのため動的なURLを静的なURLに書き換える努力をされるウェブマスターもいます。書き換えることに問題はないのですが、これは高度な作業であり不正確に行われてしまった場合は、クロール関連の問題を引き起こす原因となる可能性があることにご注意ください。適切なURL構造についてさらに詳細を知りたい方は、[Googleと相性の良いURLの作成](#)をご覧ください。



①ユーザーがわかりにくいURLの例



②この例のように、URL内にわかりやすい単語を使用することで、リンクをたどる前にリンク先のページの内容が、より伝わりやすくなります



③ [Gerbera] という検索キーワードで検索されると、サイトの深い階層にある検索キーワードとマッチするURLを持ったページが検索結果に表示されました

用語解説	クロール	パラメータ	アンカーテキスト	ID (セッションID)	301リダイレクト	サブドメイン
	検索エンジンのソフトウェア (ボット) などが情報を収集するために、各ウェブサイトを検出すること	プログラムの動作を指定するために外部から与える情報	HTML文書の中で、リンクが設定されたテキストのこと (16ページを参照)	システムやネットワーク通信において、アクセス中のユーザーの識別や行動管理のために与えられる情報	HTTPステータスコード (13ページを参照) の1つ。サイト訪問者を指定のURLへ自動的にジャンプさせる	ドメイン (6ページを参照) より小さな分類を識別するためのドメインのこと